

八洲学園大学 研究インテグリティの確保に関するガイドライン

1. 本ガイドラインについて

本ガイドラインは、八洲学園大学（以下、「本学」という。）研究インテグリティ・マネジメントに関する細則に関し、必要な事項について定めたものです。

2. 研究活動の透明性の確保に係る情報の提出について

教員、学生等本学において研究活動を行う全ての者（以下、「研究者」という。）は、自らの研究活動の透明性を確保し、説明責任を果たすため、下記の情報を所属機関等に開示してください。

- ・ 職歴・研究経歴
- ・ 現在の全ての所属機関・役職（兼業や、外国の人材登用プログラムへの参加、雇用契約のない名誉教授等を含む。）
- ・ 外部機関から受けている各種の支援

3. リスクが懸念される場合の相談等について

研究者は、外国を含む機関・大学等との共同研究や交流等（資金、施設・設備・機器等の物品、人材の受入れを含む。）に伴う、利益相反・責務相反が適切に管理されないリスク、技術流出・情報流出につながるリスク、信頼の低下リスク等のリスクに留意するとともに、リスクが懸念される場合には下記の相談窓口にご相談等を行ってください。

相談窓口：八洲学園大学 事務局

住所：〒220-0021 神奈川県横浜市西区桜木町 7-42

メールアドレス：u-jimu@yashima.ac.jp

電話：045-313-5454（9:00~17:00）

4. リスクが高いと判断した場合の対応等について

相談窓口にてリスクが高いと判断した際は、速やかに研究インテグリティ・マネジメント統括責任者（教務委員長）に報告し、リスクが顕在化する前に対処します。

（令和6年9月24日策定）